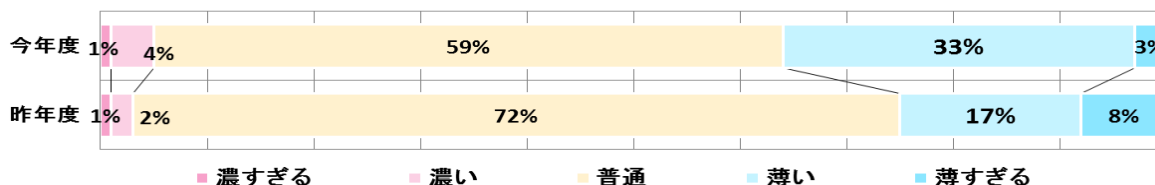


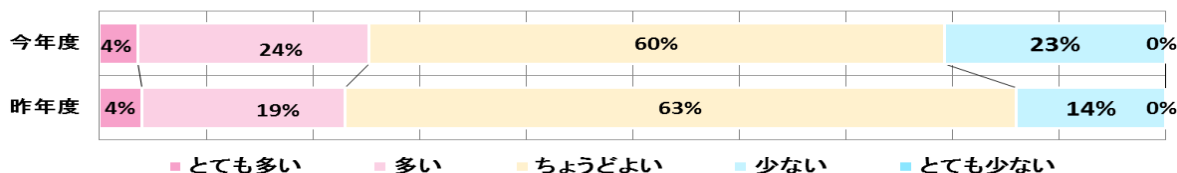
三田市民病院食事アンケート集計結果

1. 食事の味について【前年度比】



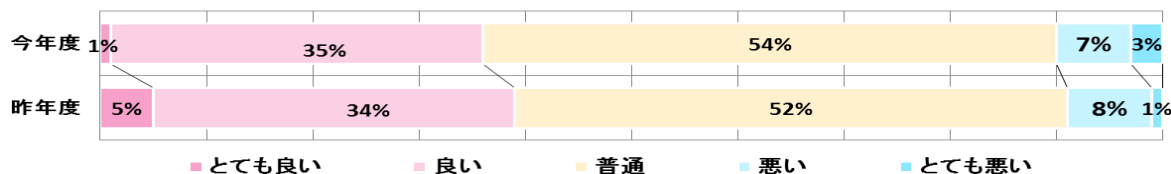
前回より『普通』、『薄すぎる』の回答が少なくなっている。『濃い』、『薄い』と感じている方が増えている。『薄い』の回答が増えた原因として、特別治療食の割合が昨年度より増えた事が考えられる。味が『濃く』なる原因として、ニュークッチルにおける調理過程で再加熱をするため、通常の調理方法よりも味が濃くなっていると思われる。

2. 食事の量について【前年度比】



『ちょうどよい』の回答が最も多く 60%であった。『とても多い・多い』の回答が合わせて 28%、『少ない』という回答は 23%、『とても少ない』の回答は 0%だった。『とても多い・多い』の回答理由として“主食の量が多い”、『少ない』の回答理由として“主菜が少ない”というコメントが挙げられていた。

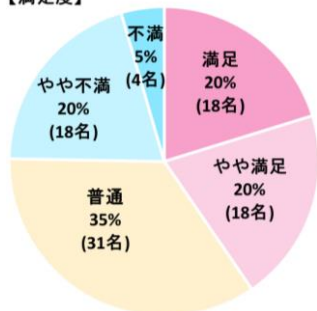
3. 盛り付けについて【前年度比】



昨年度に比べ『とても悪い』の割合が若干増えているが、『とても良い・良い・普通』の割合も増えている。普通以上の評価が 90%以上であり特に問題はないと思われる。評価理由の中には盛り付けや見た目、食器に関するコメントが存在し、盛り付けや見た目も食事を評価する上で重要な項目であることが分かった。

4. 食事に対する満足度

【満足度】

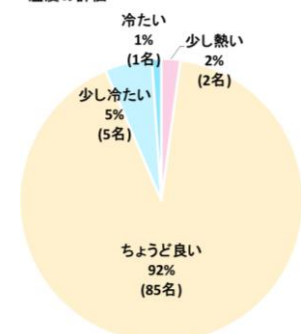


『普通』以上の回答が 75%、『不満・やや不満』が 25%であった。

『満足・やや満足』の回答理由として“温かいものと冷たいものがきちんと仕分けされていて食べ易い”、“高齢者には十分な量と内容である”、“おいしい”、という意見があり、『普通』の回答理由には“病院食として良い”という意見があった。

『不満・やや不満』の回答理由には“味付けにバラつきがある”、“レポートリーが少ない”という意見が挙げられていた。

温度の評価



『ちょうど良い』が 92%で最も多い回答となり、概ね適温で提供できていると考える。

『少し冷たい・冷たい』と回答された原因として、提供から喫食までに何らかの理由で時間が空いてしまい食事が冷めていたのではないかとと思われる。

調査について(対象者: 救急重症病棟、一部を除く食事提供患者)

今年度: 令和 5 年 6 月 21 日昼食時 配布 163 名、有効回答数 93 名、回答率 57.1%

昨年度: 令和 4 年 6 月 29 日昼食時 配布 173 名、有効回答数 123 名、回答率 71.1%